

令和6年度（県立横須賀工業高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 （公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	公務員・社会人として非違行為の防止を徹底し、法令等に従い信頼される行動をとる。	「神奈川県職員行動指針」の再配布をし、改めて未然に公務外非行の防止に努めた。教育長通知や県教育委員会の通知文書は校長から全教職員に発信し、教職員の不祥事における未然防止、意識啓発、注意喚起を行った。目標が達成できた。
職場のハラスメント （パワハラ、セクハラ、マタハラ）の防止	教職員の良好な勤務環境づくりのために、ハラスメント防止にむけて組織的に取り組む。	3月の不祥事防止研修会において、風通しの良い職場づくりについて研修を行った。ハラスメントにあたる事例を示すことで教職員と共有し、同僚性を築くため心がけを持つことが教職員同士の気づきにつながることを理解した。目標が達成できた。
児童・生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為について当事者意識を持ち、ルール遵守の徹底に努める。	5月の不祥事防止研修会において、セクハラ、わいせつ行為の防止について研修を行った。複数での生徒対応、生徒に対して私物のSNS等の連絡禁止など、点検表にそってひとつずつ確認をすることで徹底できた。目標が達成できた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰、暴言等の不適切な指導の徹底防止に努める。	7月の不祥事防止研修会に体罰、不適切な指導の防止の研修、12月と1月に人権について研修を行った。人権教育研修の受講職員より講演を行う、テーマについてブレインストーミングを行う等、人権教育の知識を深めた。目標が達成できた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	入学者選抜業務、成績及び進路関係書類を適切な点検体制を整い、ミスなく業務を行う。	入学者選抜業務、成績処理業務等、計4回の研修を行った。県教育委員会からの通知文書の徹底、校内マニュアルの見直しや周知徹底を繰返し行うことで全職員がミスなく業務を遂行することができた。目標が達成できた。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	機器の管理、電子情報の適切な取扱い及び管理の徹底に努め、個人情報流出の事故を未然に防ぐ。	10月の不祥事防止研修会において、個人情報の取扱い等の研修を2回行った。チェックシートにて各自で点検をし、全員で確認した。重要情報は定められた場所に保存することの徹底やシュレッダー禁止期間の徹底を行った。目標が達成できた。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を守り、交通事故の発生を未然に防止し、酒酔い、酒気帯び運転を根絶する。	12月の不祥事防止研修会において、飲酒運転等の根絶について研修を行った。本校の若手職員が講師役となり啓発資料に則った説明をした。正しい交通ルールの再確認と酒酔い、酒気帯び運転の根絶への意識を高めた。目標が達成できた。
会計事務等の適正執行	私費会計の適正な執行について共通理解を深め、会計に係る事故を未然に防止する。	11月の不祥事防止研修会において、私費会計の取扱いについて研修を行った。会計処理の再確認を行ったことで、学校徴収金運営協議会や財務事務調査等の監査も適正な執行と判断をいただいた。目標が達成できた。
実験・実習における事故防止	実験・実習における事故を未然に防止する。	工業教育において、実験・実習における事故防止には心がけており、各実習室の整理整頓や環境に配慮した処理を行っている。生徒の安全安心に努め、ひとりひとりに目の行き届く教科指導ができた。目標が達成できた。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

昨年度に続き今年度も不祥事ゼロで終わられ安堵している。結果から見れば達成状況は満点近いと考えている。が、今後も油断せず不祥事ゼロが継続できるように尽力する。

ゼロになった要因としては県から送られてくる資料等を管理職全員で確認し、自分の言葉で伝えられるように意思統一したことが大きいと考えている。また、採用5年未満の職員を中心に、管理職で積極的に面談を行い、日々のストレスや困り感について話を聞いたことも未然防止に繋がったと考えている。今後もこの意識を忘れずに不祥事防止に積極的に取り組む所存である。